



リチウムイオン電池の発火に注意しましょう！

今回のトピックス

当社管理施設（事務所ビル）のゴミ置場にて火災（当社過失無し）が発生しましたので、火の用心を徹底してください。

【事故発生の経緯】

- 入居テナント様がゴミ袋をビルのゴミ庫に廃棄。
そのままゴミ庫で作業を行っていたところ火災が発生。
※人的被害は無し。

実際の火災現場



【事故発生のポイント】

- 所轄消防の見解としては【原因不明】ではあるが、テナント様が廃棄したゴミが原因であったことが濃厚であり、『リチウムイオン電池』『たばこの吸い殻』による出火が予想され、特に『リチウムイオン電池』からの出火の可能性が高いとのこと。

上記の通り、私たちの身近にある『リチウムイオン電池』は火災につながるリスクがありますので、次ページに『環境省』の注意喚起資料を掲載いたします。

また、今回のケースは物件担当者、エンジニアリング部のメンバーが迅速に連携し、火災被害を最小限に留め、お客様からも感謝のお言葉をいただいたとのこと、当社の組織力が奏功した事例でもありますね。



事業者のみなさま 使用済みリチウムイオン電池は 分別して適切に排出してください

ぼくら本当に発火しちゃいますから！
本当まじ勘弁だっつーの！



動画
公開中



不要になったリチウムイオン電池・
電池使用製品は、

事業所・工場 分別して、処理が可能な
産業廃棄物処理業者に委託してください。

ご家庭 お住まいの市町村のごみ
捨てルールに従って、捨ててください。



環境省

Ministry of the Environment

リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わると発煙・発火のおそれがあります。破碎・選別などの処理工程に混入すると発火することがあり、大変危険です。廃棄物の処理施設では、火災が多数発生しています。



提供：独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）



提供：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会



提供：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

このため、リチウムイオン電池・電池使用製品の排出時には、以下の点を守ってください。



無理に 外さない

電池一体型の製品は、無理に取り外そうとせず、製品のまま排出する。



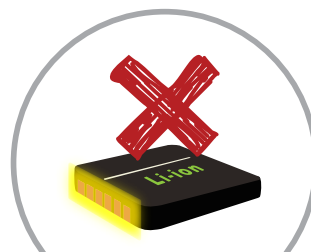
他の廃棄物と 混ぜない

リチウムイオン電池・電池使用製品は、その他の廃プラスチックや金属くずと分ける。



ぬらさない

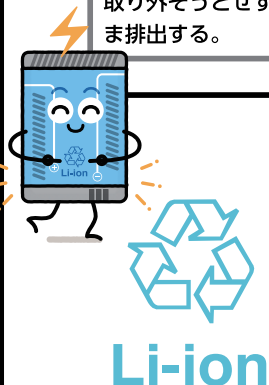
雨や水にぬれない場所で保管する。



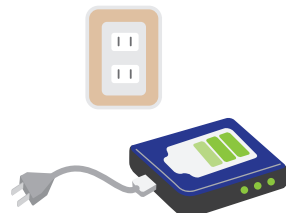
電池の端子部分を 露出させない

電池を取り外はずせる場合は、ビニールテープなどで端子部分を覆う。

リチウムイオン電池・電池使用製品の判別方法



リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。



電池使用製品には表示がなくても、「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光るなどする製品」には、リチウムイオン電池が使用されている可能性があります。

リチウムイオン電池が使用されている製品の具体例



電動工具



コードレス家電
(充電式掃除機など)



充電式投光器



トランシーバー



デジカメ



電話機
(固定・携帯・スマホ)



ノートパソコン・
タブレット



モバイル
バッテリー



加熱式たばこ



電気シェーバー・
電動歯ブラシ



ハンディファン



おもちゃ

分別したリチウムイオン電池・電池使用製品は、処理が可能な廃棄物処理業者に委託してください。

セーフリサイクル! リチウムイオン電池!

